

蜀相（杜甫）

丞相の祠堂 何れの処にか 尋ねん

錦宮 城外 柏 森々

堦に 映ずる 碧草 自ら 春色

葉を 隔つる 黄鸝 空しく 好音

三顧 頻繁なり 天下の 計

両朝 開濟す 老臣の 心

出師 未だ 捷たぎるに 身先ず 死し

長えに 英雄をして 涙襟に 満たしむ

丞相祠堂何處尋 錦宮城外柏森森  
映堦碧草自春色 隔葉黃鸝空好音  
三顧頻繁天下計 兩朝開濟老臣心  
出師未捷身先死 長使英雄淚滿襟

解説 三国時代の蜀の諸葛孔明の廟に参詣して作つた詩。

語釈 ※蜀相||諸葛孔明をさす。※祠堂||やしろ。廟。※錦宮城||成都のこと。一説に、この地の川や山が錦のように美しいからと言う。※柏||常緑樹で日本のかしわと異なる。※森森||樹木の鬱蒼と茂っている様。※堦||廟の階段。※黄鸝||朝鮮うぐいす。日本の鶯より大柄で、黄色い。※三顧||孔明が仕官をしない以前、劉備が三度も孔明の家を尋ね、出馬をこうたこと。※頻繁||しきりに。※天下計||呉・魏・蜀の三つに天下を分け、やがて蜀が統一するためのはかりごと。※兩朝||劉備とその子劉禪の二代。※開濟||開は劉備を助けて創業の功を建てたこと。濟は劉禪を助けて守成の業をなしたこと。※出師||出兵に同じ。※身先死||孔明が出兵の目的を達しないうちに、陣営で病没した。五十一歳であった。※英雄||後世の英雄。

通釈 蜀の諸葛孔明の廟はどこに尋ねたらよいであろうか。それは成都の郊外、この柏のこんもりと繁っている所である。廟には人影も見えず、階段に映る緑の草は春らしく萌え、葉かげには朝鮮鶯が、いい声でいたずらに鳴いているだけである。思えば、劉備は三度も礼を尽くして孔明を尋ね、天下統一の計を問ひ、出馬を懇請した。孔明はその誠意に感じて父子二朝にわたり、劉備のためには建国の基を開き、劉禪にはその業を継いで完成させ、老臣としての真心を尽くした。そして、さらにその功を全うしようとして、魏、討伐の軍を起こしたが、戦に勝たないうちに陣中で病没し、永く後世の英雄たちに、痛恨の涙を襟いっぱい、注がせるのである。